

平成30年度（第1回）久留米市食料・農業・農村政策審議会 議事録

日時：平成30年7月20日（金）

場所：久留米市本庁舎 4階 401会議室

出席者：福田会長、吉永副会長、森委員、白石委員、野村委員、高木委員、宇佐川委員、  
中野委員、米倉委員、大坪委員、市川委員、池田委員、矢次委員

以上13名

（欠席者：松田委員、吉田委員、田中委員、高尾委員）

事務局：農政部 山口部長、半田次長、農政部農政課 堤課長、林田主幹、  
田川課長補佐、松延主査、長野、生産流通課 角課長、  
みどりの里づくり推進課 中山課長、古賀主幹、農村整備課 田中課長、田中主幹、  
中央卸売市場 塩足場長、農業委員会事務局 横溝局長  
田主丸産振 右田課長 北野産振 本村課長 城島産振 大坪課長 三潴産振 塚本課長  
傍聴者：なし

次第：1. 開会

2. 新任委員紹介

3. 会長挨拶

4. 報告事項

(1) 第2期食料・農業・農村基本計画【平成29年度 実績報告】

(2) 第2期食料・農業・農村基本計画【平成30年度 実施計画】

(3) 久留米産農産物プロモーション動画について

5. 情報提供（委員及び事務局から）

1. 開会

2. 新任委員紹介

委員	新任委員紹介（2名） ・ J Aくるめ青年部 副部長 高木 陽介 ・ J A福岡大城城島直売所利用組合 副組合長 市川 範子
----	--

3. 会長挨拶

福田会長	挨拶
------	----

4. 報告事項

(1) 第2期 食料・農業・農村基本計画【平成29年度 実績報告】

事務局	【配布資料 平成29年度 実績報告 説明】
A委員	農業都市への市民の理解度について、H26年度は27.6%と非常に低かったが、H27年度以降、目標値の60%を達成している。急に上がるものではないと思うが、何か理由があるのか。

事務局	H26年度は市民意識調査での数値である。H27年度以降は、市政アンケートモニター調査（くるモニ）で成果指標を図っており、調査方法を変えたことが実績値を高くした要因の一つ考えられるが、その分析は難しい。目標数値を達成しているが、それ以上を目指して取り組んでいく。
B委員	久留米ブランド農産物の認知度を図っている市政アンケートモニター調査は、久留米市民を対象にしているものか。
事務局	久留米市民に対しての調査である。

**(2) 第2期 食料・農業・農村基本計画【平成30年度 実施計画】**

事務局	【配布資料 平成30年度 久留米市 食料・農業・農村基本計画 実施計画の概要 説明】
C委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物の輸出に取り組む人材育成・支援事業について、今年度は一旦休止となっているが、今後はどのように事業を進めるつもりか。</li> <li>・輸出に取り組む団体等への支援について、今年度すでに予定している農業団体はあるのか。</li> <li>・試験研究機関との連携について、今年度は実施するのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年々参加者が減少し、昨年、現地での試験販売の参加者がゼロになったのを機に、一旦休止という形をとった。今後については、これまで事業に参加された農業者と意見交換会を実施し、新たな事業のやり方等について検討していくこととしている。</li> <li>・輸出に取組む農業団体等の支援については、これまで農業団体のみ支援していたが、今年度から個人に対しても支援することとしている。今のところ支援を予定している団体はない。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試験研究機関との連携については、農研センター・生物食品研究所・資源活用研究センター・普及センター・久留米市とで新たな研究等の情報交換・意見交換などを行う連携会議を開催している。今年度は開催したいと考えている。また、意見交換だけではなく、数年に1回、新しい研究成果がある際に農業者へ向けた発表会等を開催している。</li> </ul>
D委員	数年前に九州大学学生による研究報告会に呼んでいただいたことがある。今年度は、予定があるのか。
事務局	九州大学と久留米市農政部と定期的に意見交換会を実施しているが、テーマの内容によっては、農業者に発信する場合もある。今年度については、意見交換会を考えている。今後、報告会を行う場合はご案内をさせていただく。

(3) 【プロモーション動画について 説明・視聴】

事務局	【配布資料 久留米産農産物プロモーション動画 説明及び放映】
A委員	各スーパーや直売所にモニターを設置。インターネットを活用して、YouTube や市のホームページなどで視聴出来るようにする。 また、庁舎1階の大型スクリーンにも一定時間に流れるようにしたい。 その他に、保育園・幼稚園・小学校の食育の教材としての配布やTVCM・ラジオCM等も検討している。
事務局	
E委員	J R久留米駅内の地場産には、動画設置の予定はないのか。
事務局	各公共交通機関や久留米産の農産物を取り扱っているところには、積極的に設置の相談をしていきたいと考えている。

5. 情報提供

事務局	【7月豪雨災害による農産物の被害状況の報告】
F委員	災害後は、天候に恵まれ、水稻については回復傾向にある。生育も例年に追いついたようだが、病気が心配である。一番の被害は施設で、農業ポンプが漏水し、種を撒いても水を撒けない状態にある。電気系統のショートをおこさないため、4日ほど乾かしている。
G委員	<p>附帯設備がかなり水没しており、再取得の費用について頭を痛めているとことである。</p> <p>廃棄物や廃材などゴミの処分に関しては、市に早急に動いてもらって感謝している。</p> <p>また、地域では雇用型農業が多く、外国人実習生を多く受入れており、1・2ヶ月は、仕事がないので、人件費をどうしようか考えている。</p> <p>毎年のように、大きな被害が出る中で、どのような対策をとっていかかが大きな課題である。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サラダ菜レシピ集、農産物学校配布事業の紹介</li> <li>・耳納北麓地域農業体験（くる農）の紹介</li> <li>・人権・同和教育夏期講座の案内</li> </ul>